

News Release

2025 年 7 月 16 日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2025 年 7 月 10 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

BASF コーティングス、協業による持続可能なツートンカラー塗装のイノベーション推進で表彰

- ルノーとデュルとのコラボレーションにより、新たな業界標準を設定
- オーバースプレー(塗りはみ出し)のない 100%の塗着効率
- 持続可能な自動車製造における躍進でイノベーション賞を受賞

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)のコーティングス事業本部は、ルノー・グループ(以下ルノー社、本社:フランス ブローニュ=ビヤンクール)およびデュル(以下、デュル社、本社:ドイツ ビーティッヒハイム=ビッシンゲン)とともに、2025 年 6 月に開催された「L'industrie s'engage par l'Usine Nouvelle」のイベントで、オーバースプレーフリー塗装(OFLA)のプロセス(ルノー社ではジェットプリントと呼称される)を用いた自動車製造の未来を提示しました。これにより、革新的プロセス部門の「Trophée de l'Industrie s'engage 2025」を受賞しました。このプロセスは、ツートンカラーの車両塗装の実施方法を再定義するものです。自動車 OEM の運用コストとプロセス時間の削減に加え、環境への影響も減らすことで、自動車生産の新たなベンチマークとなる持続可能な塗装技術として、画期的であると評価されています。

この OFLA プロセスはルノー社のモブージュ工場に導入されており、革新的な一体型のウェットオンウェット塗装プロセスにより、新たなツートンの量産ラインにおいて、1 回の塗装工程で同時に 2 色を塗布することを可能にしています。BASF のコーティングス事業

本部では、OFLA プロセスにおける最適なパフォーマンス、高精度性、そして自動化を一貫した品質で実現するため、特別に開発したデココート塗料技術によって、このイノベーションに貢献しました。完璧に調整されたセンサーとソフトウェアを使用し、デュル社のジェット塗装機(EcoPaintJet Pro)と、ロボット自動化技術の革新により、スプレー塗装によるはみ出しがまったく発生しない高精度の塗装が可能となっています。

従来のツートンカラーの塗装では、車両は塗装工程を 2 回通過する必要があり、その間、人の手で、保護資材を用いて広範囲をマスキングしなければなりません。その結果、多くの労力と時間を要するプロセスとなり、大量の廃棄物とエネルギー消費が発生します。

OFLA は、デジタル印刷技術に着想を得たミストフリーで高精度なジェット塗装システムを採用することで、こうした従来のプロセスに革命をもたらしました。これにより、異なる色のルーフや A-C ピラー部なども、塗りはみ出しなしでピンポイントに塗装することが可能になります。マスキング材が不要となるため、完全に自動化されたこの塗装方法によって、塗装工場におけるツートンカラー車の生産能力を向上させることができます。

自動車 OEM コーティングのグローバルマーケティング担当バイスプレジデントであるレイチェル・チューは次のように述べています。「当社の視点では、OFLA は、サステナビリティと製造におけるパフォーマンスを組み合わせた画期的な技術です。これは、お客様のサステナビリティ目標と経済的目標をサポートするバリュー重視の効率性を体現しています。」

BASF のコーティングス事業本部のグローバル開発ベースコートチームのプロジェクトリーダーであるシュテファン・ロールマンは次のように述べています。「マスキングと組み合わせた従来のスプレー塗装と比較して、塗着効率は 100%となり、この技術は環境、経済の両面で目に見える効果をもたらします。塗装にかかるコストは最大 70%削減でき、マスキング材の廃止によって車両あたり 1.6kg もの廃棄物が削減されました。また、エネルギー消費量は最大 80%削減、CO₂相当排出量も約 80%[1]削減されました。」

BASF コーティングスとパートナーによる今回の受賞は、価値ある革新的な技術を共に探求するコラボレーションの成果です。この取り組みは、未来の塗装工場を形づくり、自動車業界における持続可能な変革を推進する力があることを実証しています。また、欧州メーカーが工業生産において効率性と環境責任を両立し、業界における新たな基準を示す存在であることも強調されています。OFLA は、設計の柔軟性や生産効率を高め

るだけでなく、この分野における持続可能な製造の新たなベンチマークとなっています。

[1] BASF コーティングスの塗装工場のライフサイクルアセスメントツールである GLASS を使用して、年間 20,000 台の自動車生産に基づいて計算しました。

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

■BASF のコーティングス事業本部について

BASF のコーティングス事業本部は、革新的な自動車用塗料、自動車補修用塗料、装飾用塗料、メタル、プラスチック、ガラス基板など幅広い産業での表面処理およびそれらの応用に必要なプロセスの開発、生産、販売を行っています。これらのポートフォリオは、新しい市場や事業開発を目指す Innovation Beyond Paint(塗料を超えたイノベーション)プログラムによって提供してまいります。私たちは、先進的なパフォーマンス・ソリューションを創造し、世界中のパートナーのニーズを満たすために、パフォーマンス、デザイン、新しいアプリケーションを推進しています。BASF は、ヨーロッパ、北米、南米、アジア太平洋地域の拠点のネットワークを活用することで、お客様の利益のために、専門的でグローバルなチームのスキル、知識、リソースを提供しています。2024 年における BASF コーティングス事業本部の世界の売上高は約 43 億ユーロでした。Solutions beyond your imagination(想像をはるかに超えたソリューション)。BASF コーティングスの詳細情報は <https://www.basf-coatings.com> (英語)をご覧ください。

■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。私たちは、持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追究しています。また、お客様のグリーントランスフォーメーションを可能にする、選ばれる化学会社になるという意欲的な目標を掲げています。全世界で約 112,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、コア事業の事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、ニュートリション & ケア)、スタンドアローン事業の事業セグメント(サーフェステクノロジー、アグロソリューション)から成ります。2024 年の BASF の売上高は 653 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASF の詳しい情報は <https://www.basf.com/global/en.html> をご覧ください。